環境経営レポート

（第12版）

対象期間：令和4年7月～令和5年6月

発行日：令和5年　9月　1日

改訂日：令和5年12月　8日

南興建設株式会社

私たちは熊本県SDGs登録事業者です

© 2010熊本県くまモン

目　次

1	会社概要	Page 2
2	環境方針	Page 3
3	環境経営システム組織図	Page 4
4	環境目標	Page 5
5-1	環境目標の実績	Page 6
5-2	CO2排出量の推移	Page 7
5-3	原単位方式による目標設定と実績	Page 8
6	環境活動計画と実施状況	Page 9
7	取組の結果とその評価	Page 10
8	環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無	Page 11
9	代表者による全体評価と見直し	Page 12
10	次年度の取り組み	Page 13
11	ボランティア活動の取り組み	Page 14

１．会社概要

１．　事業所名　　南興建設株式会社

２．　所在地　　本社　　〒869-5604 熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木2113番地の36
倉谷倉庫　〒869-5602 熊本県葦北郡津奈木町大字津奈木字日野越2441-2
第２倉庫　〒869-5604 熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木2113番地の17
第３倉庫　〒869-5604 熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木319番地の2

３．　代表者名　　代表取締役　野﨑　武寿

４．　事業の概要　　総合建設業

熊本県知事許可　特-30　第2059号
（土木、とび・土工、舗装、しゅんせつ、塗装、水道施設、解体）工事業

熊本県知事許可　般-30　第2059号　（建築、管、造園）工事業

５．　事業規模　　令和４年度完成工事高　　620 百万円
資本金　　２，０００万円
従業員数　２３名

６．　沿革　　創　業：昭和３４年　　福浜建設
法人化：昭和５４年１０月　　南興建設株式会社

７．　環境管理責任者名・担当者名及び連絡先

田口　誠
TEL　0966-78-3681　FAX　0966-78-2822
E-mail　info@tn-nanko.com　（代表）
t-mako@tn-nanko.com　（専用）

９．　会計年度　　７月１日から翌年６月３０日まで

１０．　認証登録範囲　　・本社、倉谷倉庫、第２倉庫、第３倉庫（全組織）
・全事業

２．環境経営方針

私たち南興建設は、周囲を見渡せば山林と不知火海という大自然に恵まれた津奈木町にあり、建設業として50数年地域の発達と共に歩んでまいりました。

環境破壊・地球温暖化が危惧される今日に於いて、建設事業者が事業活動を行う上で、自然環境に対してどの様な影響を及ぼすかを強く認識し、豊かな生活環境と自然を次世代に引き継ぐために、全ての事業活動および社員一人一人の日常生活を通じて地球環境に対する負荷を抑制し、明るい豊かな循環型社会の構築に貢献し、環境経営の継続的改善を誓約します。

１．省エネルギーに努め二酸化炭素排出量を削減する。

２．水資源を有効活用する為、節水・水質汚濁防止に努める。

３．廃棄物の削減を目指し、リサイクルの推進及び、資源の有効活用を実施する。

４．環境関連法規等を遵守し、地域社会との調和に努める。

５．エコアクション２１の目的・理念を全社員に周知徹底し、一丸となって活動を行う。

６．組織内外へのコミュニケーションツールとして、環境経営レポートを作成し公表する。

７．工事における施工計画時での環境対策の項目に環境経営に則った目標を掲げ、全社員に共有し実践する。

制定日：平成２４年７月　１日

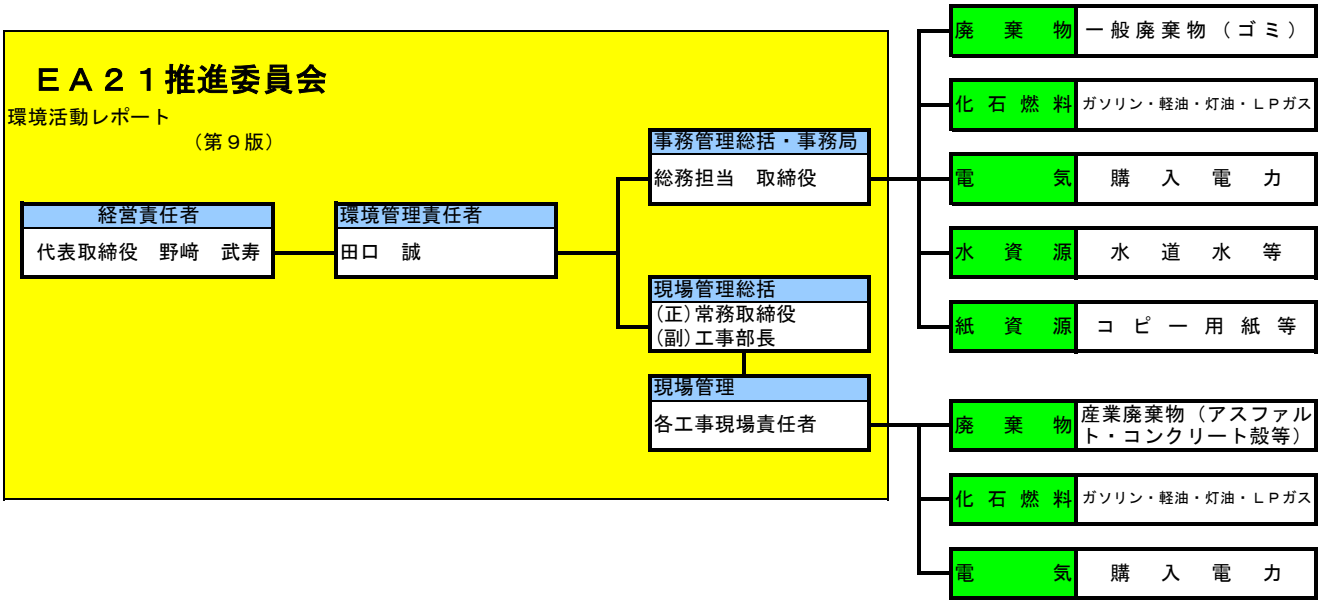
改訂日：令和５年１２月　８日

南興建設株式会社

代表取締役　　野﨑　武寿

３.環境経営システム組織図

作成者： 田口　誠
更新日： 令和5年12月8日



環境経営システム　役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
経営責任者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な人員、設備、費用、時間、技能等を準備を行う。 ・ 環境管理責任者を任命する。 ・ 環境方針の策定・見直し・全従業員への周知を行う。 ・ 環境目標・環境活動計画書を承認。 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施（1回/年）。 ・ 環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理を行う。 ・ 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・ 環境目標・環境活動計画書を確認。 ・ 環境活動の取り組み結果を代表者に報告。 ・ 環境活動レポートの確認。
事務管理総括・事務局	・ 環境管理責任者の補佐、ＥＡ２１推進委員会の事務局。 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。 ・ 環境目標、環境活動原案の作成。 ・ 環境活動の実績集計。 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・ 環境レポートの作成、公開（事務所備え付けと地域事務局への提出）
現場管理総括	・ 各工事現場管理の統括管理。 ・ 各工事現場の従業員に対する教育訓練の実施。 ・ 各工事現場における緊急事態への対応の為の手順書作成。
現場管理	・ 自工事現場における環境経営システムの実施。 ・ 自工事現場における環境方針の周知。 ・ 自工事現場における環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・ 自工事現場における緊急事態における訓練を実施、記録の作成。 ・ 自工事現場の問題点の発見、是正、予防措置の実施。
ＥＡ21推進委員会	・ 代表者が委員長を勤める。構成メンバーは組織図の通り。 ・ 開催は原則として1回/月とする。（進行は環境管理責任者が行う） ・ 環境改善活動を推進するための会社としての意志決定機関。 ・ 環境方針、環境目標、環境活動計画を審議。 ・ 環境目標、環境改善計画の進捗管理の審議。 ・ マニュアル・規定類があれば、これらの審議。
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。 ・ 環境活動への提案。

４．中期環境目標

方針	項目	基準年度及び実績	目標及び目標値		
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		7月～6月	7月～6月	7月～6月	7月～6月
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	kWh	18,148	17,967	17,876	17,785
	CO2換算（Kg-CO2）	9,001	8,911	8,866	8,821
	ガソリン使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	14,625	14,479	14,406	14,333
	CO2換算（Kg-CO2）	33,930	33,591	33,421	33,251
	軽油使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	85,360	84,506	84,080	83,653
	CO2換算（Kg-CO2）	220,229	218,027	216,925	215,824
	灯油使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	1,115	1,104	1,098	1,093
	CO2換算（Kg-CO2）	2,776	2,749	2,735	2,721
	液化石油ガス使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	（LPG）	357	353	352	350
	CO2換算（Kg-CO2）	1,071	1,060	1,055	1,050
	混合油使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	150	149	148	147
	CO2換算（Kg-CO2）	348	345	343	341
			－1.0%	－1.5%	－2.0%
	CO2換算（Kg-CO2）の合計値	267,356	264,682	263,345	262,008
リサイクルの推進	廃棄物のリサイクル率100%	100	100	100	100
	アスファルト塊・コンクリート塊				
	廃棄物のリサイクル向上	100	100	100	100
	木屑・廃プラ				
	一般廃棄物の削減				
水	水使用量の削減	82	－1.0%	－1.5%	－2.0%
	m3		81.2	80.8	80.4
環境保全等	（環境保全・地域貢献等）	2回	2回	2回	2回
	ロードクリーンボランティアの実施回数				

※ 電気使用量のCo2換算係数は平成29年度の調整後換算係数0.496を使用した。

※ R2年度は豪雨災害による応急対策で燃料増加がみられたため基準年度として設定した。
R3年度以降3年間は災害復旧工事が次第に終了していくため、R6年度以降の目標設定は、R2年度・
実績の平均化した数値を目標として掲げる。

方針	項目	基準年度及び実績	目標及び目標値		
		R2～4年度平均	R6年度	R7年度	R8年度
		7月～6月	7月～6月	7月～6月	7月～6月
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	kWh	17,669	17,492	17,404	17,315
	CO2換算（Kg-CO2）	8,764	8,676	8,632	8,588
	ガソリン使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	15,731	15,574	15,495	15,417
	CO2換算（Kg-CO2）	36,497	36,132	35,949	35,767
	軽油使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	85,590	84,734	84,306	83,878
	CO2換算（Kg-CO2）	220,823	218,615	217,511	216,406
	灯油使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	1,189	1,177	1,171	1,166
	CO2換算（Kg-CO2）	2,961	2,932	2,917	2,902
	液化石油ガス使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	（LPG）	329	326	324	322
	CO2換算（Kg-CO2）	987	977	972	967
	混合油使用量の削減		－1.0%	－1.5%	－2.0%
	L	180	178	177	176
	CO2換算（Kg-CO2）	417	413	411	409
			－1.0%	－1.5%	－2.0%
	CO2換算（Kg-CO2）の合計値	270,448	267,744	266,392	265,039
リサイクルの推進	廃棄物のリサイクル率100%	100	100	100	100
	アスファルト塊・コンクリート塊				
	廃棄物のリサイクル向上	100	100	100	100
	木屑・廃プラ				
	一般廃棄物の削減				
水	水使用量の削減	78	－1.0%	－1.5%	－2.0%
	m3		77.2	76.8	76.4
環境保全等	（環境保全・地域貢献等）	2回	2回	2回	2回
	ロードクリーンボランティアの実施回数				

5－1．環境目標の実績（令和4年7月～令和5年6月）

方針	項目	基準年度及び実績	目標及び目標値	実績（達成率）
		R2年度	R4年度	R4年度
		7月～6月	7月～6月	7月～6月
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		−1.5%	91.8%
	kWh	18,148	17,876	16,416
	CO2換算（Kg−CO2）	9,001	**8,866**	**8,142**
	ガソリン使用量の削減		−1.5%	109.3%
	L	14,625	14,406	15,749
	CO2換算（Kg−CO2）	33,930	**33,421**	**36,539**
	軽油使用量の削減		−1.5%	91.6%
	L	85,360	84,080	76,993
	CO2換算（Kg−CO2）	220,229	**216,925**	**198,641**
	灯油使用量の削減		−1.5%	81.5%
	L	1,115	1,098	895
	CO2換算（Kg−CO2）	2,776	**2,735**	**2,229**
	液化石油ガス使用量の削減		−1.5%	53.0%
	（LPG）	357	352	186
	CO2換算（Kg−CO2）	1,071	**1,055**	**559**
	混合油使用量の削減		−1.5%	161.8%
	L	150	148	239
	CO2換算（Kg−CO2）	348	**343**	**554**
			−1.5%	94%
	CO2換算（Kg−CO2）の合計値	267,356	263,345	**246,664**
リサイクルの推進	廃棄物の削減	リサイクルの推進	リサイクル率100%	リサイクル率100%達成
	対象：特定建設資材廃棄物	目標　リサイクル率100%		
	廃棄物の削減	廃棄物の適正な処分	廃棄物全体の リサイクル率90%以上	リサイクル率99.7%達成
	対象：特定建設資材廃棄物以外	目標　全体のリサイクル率90%		
水	水使用量の削減		−1.0%	87%
	m3	82.0	81	**70.0**
環境保全等	環境保全・地域貢献等			
	ロードクリーンボランティアの実施	2回実施	2回実施	2回実施
	回			

※電気使用量のCo2換算係数は平成29年度の調整後換算係数0.496を使用した。

有効活用	太陽光発電量	R2年度	R4年度実績
	kWh	12,008	12,389
	CO2換算（Kg−CO2）	5,956	6,145

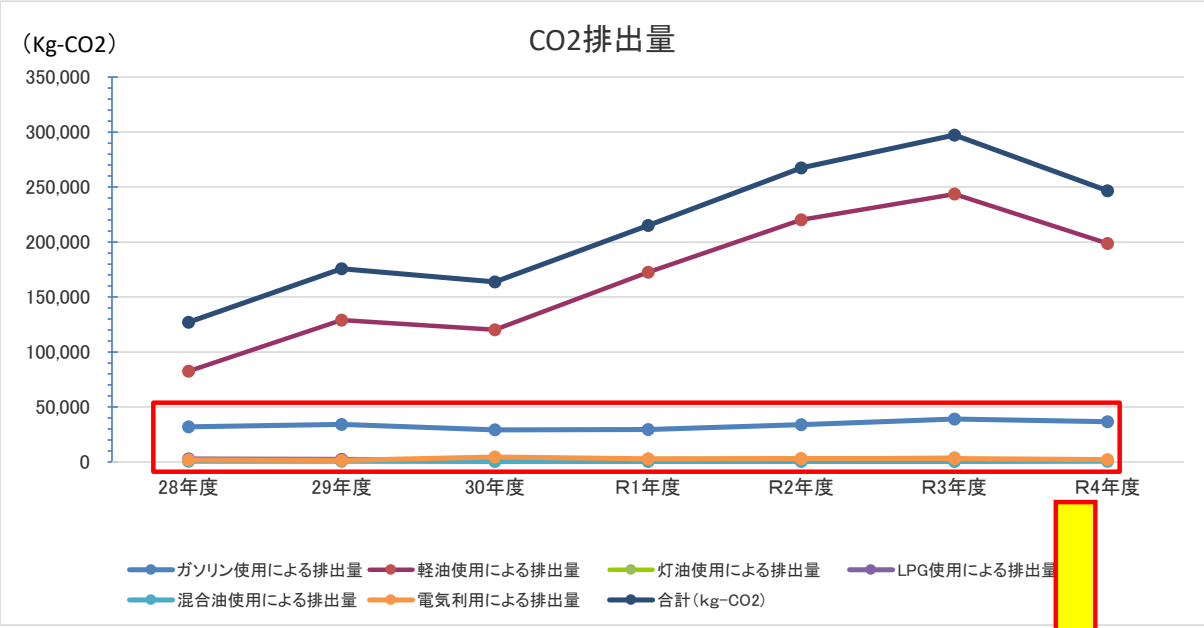
※平成26年2月より発電開始

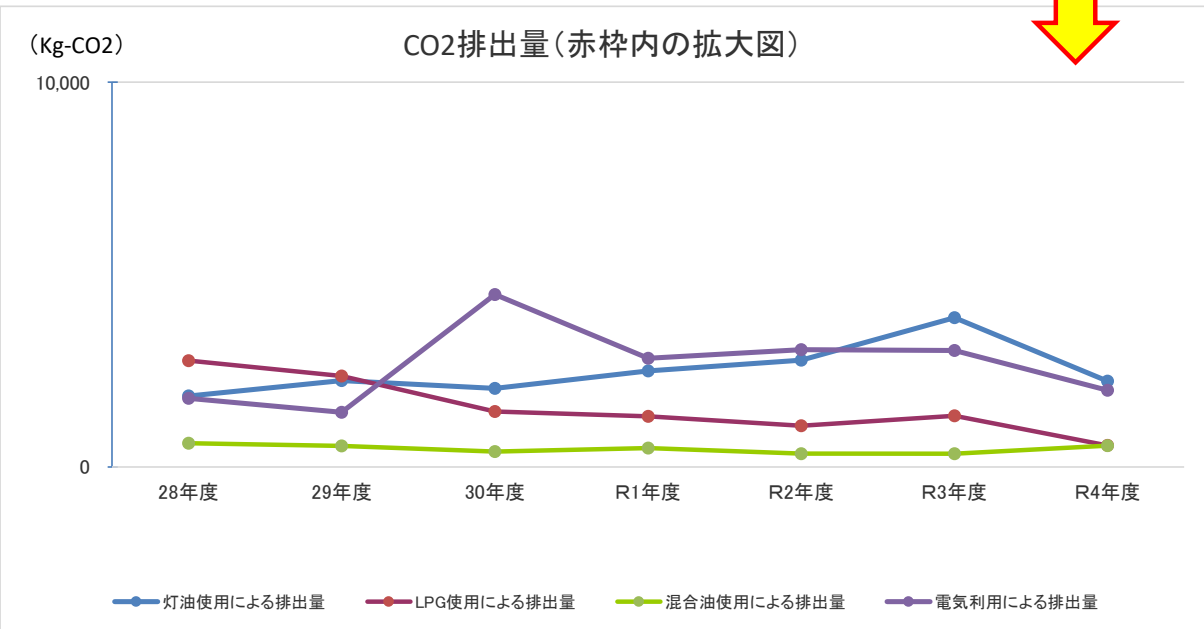
５－２．CO２排出量の推移

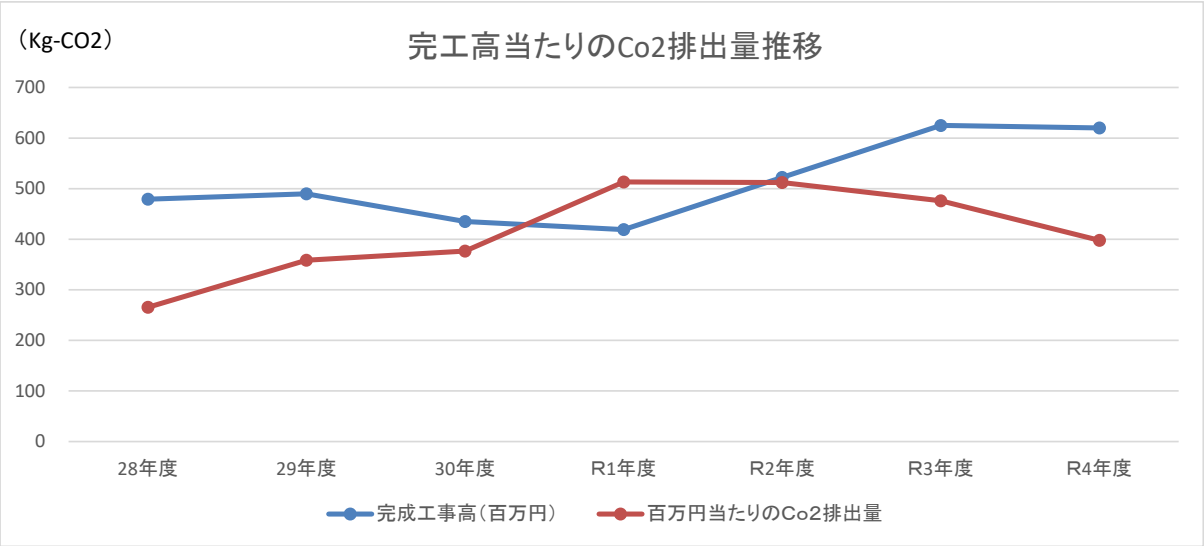
	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
電気使用量（kWh）	14996	15021	21313	17353	18148	18442	16416
電気使用量	7,438	7,450	10,571	8,607	9,001	9,147	8,142
太陽光発電量（kWh）	11401	12154	12274	11650	12008	12337	12389
太陽光Co2削減量	5655	6028	6088	5778	5956	6119	6145
電気利用による排出量	1,783	1,422	4,483	2,829	3,045	3,028	1,997
ガソリン使用による排出量	31,916	34,036	29,155	29,483	33,930	39,021	36,539
軽油使用による排出量	82,517	129,036	120,182	172,651	220,229	243,599	198,641
灯油使用による排出量	1,844	2,243	2,043	2,494	2,776	3,879	2,229
LPG使用による排出量	2,765	2,366	1,441	1,319	1,071	1,330	559
混合油使用による排出量	618	548	404	489	348	348	554
合計（kg-CO2）	127,098	175,679	163,796	215,043	267,355	297,325	246,664

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
完成工事高（百万円）	479	490	435	419	522	625	620
百万円当たりのCo2排出量	265	359	377	513	512	476	398

※電気利用による排出量は、電気使用量（8607kg-CO2）から太陽光発電量（5778kg-CO2）を削減量として差引いた値を用いた。






（Kg-CO2）
完工高当たりのCo2排出量推移
700
600
500
400
300
200
100
0
28年度
29年度
30年度
R1年度
R2年度
R3年度
R4年度
完成工事高（百万円）
百万円当たりのCo2排出量

5－3．原単位方式による目標設定と実績

切削オーバーレイ工事

H26～R1年度　舗装工事実績

	工事名	工期	工事内容	施工面積（m2）	軽油使用量（L）	1m2当の軽油消費量	CO2排出量（Kg-co2）
H26	舗装工事　2件		切削オーバーレイ工事	8,268	622.00	0.075	0.194
H27	舗装工事　4件		切削オーバーレイ工事	11,194	1,087.00	0.097	0.251
H28	舗装工事　4件		切削オーバーレイ工事	10,918	1,066.30	0.098	0.252
H29	舗装工事　2件		切削オーバーレイ工事	5,598	466.91	0.083	0.215
H30	舗装工事　3件		切削オーバーレイ工事	7,286	1,416.81	0.194	0.502
R1	水俣田浦線単県舗装補修（公共施設等適正債）工事（牧ノ内工区）	R1.7月～R1.12月	切削オーバーレイ（1層）	2,274	413.0	0.182	0.469
R2	舗装工事　2件		切削オーバーレイ工事	7,545	979.5	0.130	0.335
R3	舗装工事　3件		切削オーバーレイ工事	5,832	2,148.4	0.368	0.950
	合計			58,915	8,200	1.228	3.167
				平均値		0.136	0.352

R3年度　舗装工事実績

	工事名	工期	工事内容	施工面積（m2）	軽油使用量（L）	1m2当の軽油消費量	目標値	達成率	評価
R4	越小場湯浦線単県舗装舗修（公共施設等適正債）工事	R4.3月～R4.12月	切削オーバーレイ（1層）	1,860	372.5	0.200	0.136	147%	未達
R4	水俣田浦線単県舗装補修（公共施設等適正債）工事	R4.3月～R4.12月	切削オーバーレイ（1層）	1,832	130.1	0.071	0.136	52%	達成
R4	越小場湯浦線外単県道路舗装修繕工事　他合併	R4.12月～R5.3月	切削オーバーレイ（1層）	1,177	443.8	0.377	0.136	277%	未達
				4,869	946.40	0.194	0.136	143%	未達

舗装新設工事

H26～R1年度　舗装工事実績

	工事名	工期	工事内容	施工面積（m2）	軽油使用量（L）	1m2当の軽油消費量	CO2排出量（Kg-co2）
H26	舗装工事　2件		舗装新設工事	4,370	632	0.145	0.373
H27	舗装工事　2件		舗装新設工事	5,730	792	0.138	0.357
H28	舗装工事　3件		舗装新設工事	7,622	2,780	0.365	0.941
H29	水俣広域公園公園施設長寿命化対策（園路舗装）その1工事	H29.9月～H30.2月	ゴムチップ舗装、舗装打替	2,344	238	0.102	0.262
H30	舗装工事　3件		舗装新設工事	6,622	2,961	0.447	1.154
R1	水俣広域公園都市公園（テニスコート）舗装その1工事	R1.7月～R2.3月	テニスコート新設舗装	1,617	310	0.192	0.494
R2	舗装工事　3件		舗装新設工事	8,780	3,979	0.453	1.169
R3	舗装工事　2件		舗装新設工事	4,378	4,623	1.056	2.724
	合計			41,463	16,315.19	2.897	7.475
				平均値		0.362	0.934

R3年度　舗装工事実績

		工期	工事内容	施工面積（m2）	軽油使用量（L）	1m2当の軽油消費量	目標値	達成率	評価
R4	水俣田浦線（福浦2）活力創出基盤交付金（改築）舗装工事	R4.3月～R4.8月	舗装新設（1層）	1,340	597.80	0.446	0.362	123%	未達
				1,340	597.80	0.446	0.362	123%	未達

※原単位方式の条件

1.舗装工事における舗設の軽油使用量を計上する。

2.現場毎の舗装面積を軽油使用量から割る事で1m2当たりの軽油消費量を算出する。

3.R2年度現場毎の達成率を算出し評価を行う。（100%以下＝達成、100%超＝未達）

改訂日：令和3年10月20日

６．環境活動計画と実施状況

	取　組　項　目	具体的活動項目	
1	電気使用量の削減 （目標-1.5%）	・昼休み不在時の消灯	○
		・不使用時のパソコン電源OFF	○
		・エアコンの設定温度（夏季28℃、冬季21℃）	○
2	ガソリン使用量の削減 （目標-1.5%）	・乗り合せて使用車両を減らす	△
		・エコドライブを心掛ける	○
		・車両の始業点検を確実に行う（特にオイル・空気圧）	○
3	軽油使用量の削減 （目標-1.5%）	・重機使用の段取りを事前に決定する	○
		・アイドリングストップを徹底する	○
		・ダンプ等の過積載運行を禁止する	○
4	灯油使用量の削減 （目標-1.5%）	・冬季石油ストーブの使用を細かくチェックする	○
		・室温が21℃以下の時にストーブを使用する	○
		・ストーブの周りに節約カードを貼付け使用の制限を呼びかける	○
5	液化石油ガス使用量の削減 （LPG） （目標-1.5%）	・ガスバーナーの無駄な燃焼を抑える	○
		・未使用時はガスの元栓を閉める	○
6	混合油使用量の削減 （目標-1.5%）	・アイドリングストップを励行する	○
		・機械使用時は経済運転に努める	×
		・携行缶からの給油時は絶対に燃料を流出させない	○
	二酸化炭素排出量の削減		
7	リサイクルの推進 （目標リサイクル率100%）	・産業廃棄物処理業者との契約を結び、現場で発生した廃棄物は全て当該業者にて処分する	○
		・発生量はマニフェスト伝票にて数量管理を行う	○
8	水使用量の削減 （目標-1.5%）	・雨水利用を心掛ける（倉庫に雨水タンク設置済）。	○
		・水道の周囲に節水カードを貼付け節水を呼びかける	○
9	環境保全・地域貢献等	・ロードクリーンボランティアの実施	○
		・工事着工時の周辺住民への工事説明	○
		・騒音、粉塵、振動への環境配慮	○
		・生物多様性の配慮（泥水を流さない）	○

※○：項目達成、△：達成率が100%まで行かない×：活動したが未達

７．取組の結果とその評価

	取　組　項　目	取　組　状　況	評　価
1	電気使用量の削減 （目標-1.5%）	不要な電気の消灯以外に季節に応じたエアコンの適正使用を心掛け、各家庭での実践も行わせた。	環境省推奨のエアコン設定温度（夏期 28℃、冬期 20℃）を目標に自動運転での使用が功を奏したと思われる。
2	ガソリン使用量の削減 （目標-1.5%）	月間目標として乗り合わせにおける車両の運行を実施し、移動における燃料消費を抑える活動を行った。	工事件数は減少にも関わらず未達となった。各車両での現場の往復以外（道具や資材を倉庫に取りに行く）での使用を抑えるよう全従業員に周知した。
3	軽油使用量の削減 （目標-1.5%）	令和2年7月豪雨災害に起因する工事量の増大に対応するため重機やダンプの使用方法の段取りを工夫した。	使用料削減は達成できたが、舗装工事の原単位集計は芳しくない。舗装工事各現場の給油たいみんぐのばらつきのないよう管理を行う。
4	灯油使用量の削減 （目標-1.5%）	室温計を基にストーブ使用を心がけ、消費削減を目指した。	電気使用量と連動するが、エアコンのエコ運転に伴い、石油ストーブ及び石油ファンヒーター使用の削減が達成できた。
5	液化石油ガス使用量の削減 （LPG） （目標-1.5%）	舗装工事の際に無駄のないLPG使用を心掛け、ロスを最初減に抑えた。	舗装工事での使用削減効果もあるが、冬季のガスヒーター使用を排除したため大幅削減につながった。
6	混合油使用量の削減 （目標-1.5%）	主に除草工事でに使用であり、作業休止時のアイドリングストップを徹底した。	昨年との比較で除草作業量が本年度は増大したため目標未達となった。作業時のアイドリングストップは安全作業にもつながるため実施していた。
	二酸化炭素排出量の削減		今年度は工事現場数も安定してきて、Co2排出量も達成し、且つ完工高に対する割合も減少している。今後とも引き続き活動を続けていきたい。
7	リサイクルの推進 （目標リサイクル率100%）	工事現場毎に処理業者との契約を結び、各現場責任者がマニフェストを発行し、適切に処分した	発生した産業廃棄物は100%中間処理を行った。
8	水使用量の削減 （目標-1.5%）	倉庫に隣接の雨水タンク利用を心がけた。	雨水タンクの活用を徹底した。例年通り使用量の減少がみられることは節約が定着してきたと考えられる。
9	（環境保全・地域貢献等） ロードクリーンボランティアの実施	R4.7月とR5年4月の2回実施した。	現場作業の合間に実施するため、予定の4月9月と異なるが2回達成できた。

8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

環境法規等一覧表兼遵守評価記録

チェック日： 令和5年6月30日

No	法規等の名称	要求事項	適用施設等	届出・許可等	記録・書類等	遵守評価記録	
						評価	備考
1	建設リサイクル法	建設系廃棄物（アスファルト屑、コンクリート屑等の解体・再利用）	各工事現場 産業廃棄物中間処理施設 ・アスファルトくず ・コンクリートくず	熊本県（排出事業者）	マニフェスト伝票	適	リサイクル率100%遵守
2	騒音規制法	指定地域内で特定建設作業を行う場合、現場市町村に7日前までに届出	各工事現場 ・油圧ショベル 70kW以上 ・ブルドーザ 40ｋW以上 ・ハンマーショベル	市町村	届出書	—	該当事例なし
3	振動規制法	指定地域内で特定建設作業を行う場合、現場市町村に7日前までに届出	各工事現場 ・くい打ち機 ・鋼球 ・舗装版破砕機・ブレーカー	市町村	届出書	—	該当事例なし
4	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	・廃棄時の適正業者への引渡し ・マニフェスト発行、返送遅延時届出 ・マニフェスト交付状況の報告	各工事現場 廃棄物置場 ・木くず、紙くず ・鉄くず	熊本県（排出事業者）	産廃処理計画書及び報告書 マニフェスト伝票	適	
5	浄化槽法	・浄化槽によるし尿、雑排水の処理 ・設置の届出 ・設置後の水質検査 ・保守点検及び清掃、定期検査 ・廃止の届出	浄化槽管理項目	設置の届出 廃止の届出	設置届出書 水質検査記録 保守点検・清掃及び定期検査の記録 廃止届出書	適	（第９版）
6	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）	・業者の自主回収に協力する	パソコン、コピー機	—	民間のリサイクル	—	該当事例なし
7	特定家庭機器再商品化法（家電リサイクル法）	・廃棄時の引渡し、料金の支払い	エアコン、テレビ、電気冷蔵庫・冷凍庫	家電リサイクル業者	管理票	—	該当事例なし
8	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	・使用自動車の引渡し ・再資源化等預託金の預託	自動車	—	引取証明書等	—	該当事例なし

対象期間：令和4年７月～令和5年６月

・環境関連法規の違反はありません。
・過去3年間にわたり、関係機関からの指摘、指導等はありません。
・顧客、周辺住民からの訴訟、苦情等はありません。

９．代表者による全体評価と見直し

令和5年6月30日　実施

全体の評価		
2022年9月8日に熊本県SDGs登録制度（第3期）での事業者登録認定を受け、全従業員に改めて持続可能な開発目標を達成するためのEA21の重要性を周知した。 　全従業員は多様な工種に対応できるよう現場の配置転換を適宜行っているが、各現場監督の指導の下で創意工夫を凝らして活動している。		
1.　環境方針	変更の必要性：	有・(無)
特になし。		
2.　環境目標・環境活動計画	変更の必要性：	有・(無)
特になし。		
3.　環境経営システムの各要素	変更の必要性：	有・(無)
実施体制の見直し：特になし		

１０．次年度の取り組み

	取　組　項　目	具体的活動項目
1	電気使用量の削減 （目標−2.0%） ※R2年度実績を基準値とする	・昼休み不在時の消灯 ・不使用時のパソコン電源OFF ・エアコンの設定温度（夏季28℃、冬季21℃）
2	ガソリン使用量の削減 （目標−2.0%） ※R2年度実績を基準値とする	・乗り合せて使用車両を減らす ・エコドライブを心掛ける（エコドライブ10のすすめの活用） ・車両の始業点検を確実に行う（特にオイル・空気圧） ・ドライブレコーダー装着車は月1でエコドライブ検討会を実施する
3	軽油使用量の削減 （目標−2.0%） ※R2年度実績を基準値とする	・重機使用の段取りを事前に決定する ・アイドリングストップを徹底する ・手直し工事の削減に取り組む ・ドライブレコーダー装着車は月1でエコドライブ検討会を実施する
4	灯油使用量の削減 （目標−2.0%） ※R2年度実績を基準値とする	・冬季石油ストーブの使用を細かくチェックする ・室温が21℃以下の時にストーブを使用する ・ストーブの周りに節約カードを貼付け使用の 制限を呼びかける
5	液化石油ガス使用量の削減（LPG） （目標−2.0%） ※R2年度実績を基準値とする	・ガスバーナーの無駄な燃焼を抑える ・未使用時はガスの元栓を閉める
6	混合油使用量の削減 （目標−2.0%） ※R2年度実績を基準値とする	・アイドリングストップを励行する ・機械使用時は経済運転に努める ・携行缶からの給油時は絶対に燃料を流出させない
7	リサイクルの推進 （目標リサイクル率100%）	・産業廃棄物処理業者との契約を結び、現場で 発生した廃棄物は全て当該業者にて処分する ・発生量はマニフェスト伝票にて数量管理を行う
8	水使用量の削減 （目標−2.0%） ※R2年度実績を基準値とする	・雨水利用を心掛ける（倉庫に雨水タンク設置済）。 ・水道の周囲に節水カードを貼付け節水を呼びかける
9	環境保全・地域貢献等	・ロードクリーンボランティアの実施 ・工事着工時の周辺住民への工事説明 ・騒音、粉塵、振動への環境配慮 ・生物多様性の配慮（泥水を流さない）

１１．ボランティア活動の取組み

実施日：令和４年７月１５日
出発式

実施日：令和５年４月１４日
出発式

活動状況

活動状況

活動完了

活動完了

実施路線：県道水俣田浦線

津奈木町平国地内～赤崎地内